

2019年 3月期
2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日

連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

(証券コード 7702)

2019年5月10日

業績ハイライト

～2019年3月期～

百万円

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	対前期増減率
売上高	56,520	58,059	1,538	2.7%
営業利益	573	1,462	888	154.9%
経常利益	820	1,520	699	85.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	631	1,160	528	83.8%
1株当たり当期純利益(※)	25円91銭	47円59銭	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	110.85円	110.91円
	ユーロ	126.67円	130.42円
	シンガポールドル	81.74円	81.69円

～増収増益～
(2期連続増収、利益は前期比増)

売上	日本	-新型血液透析装置「GC-X01」が拡大 -摂食嚥下関連用品が拡大	利益	-増収効果に加え、販売費の低減や為替が有利に作用したため営業利益は増加 -持分法による投資利益を計上し、経常利益は増加
	海外	-成分献血用回路が増加 -血液透析装置が増加	配当金	年間配当は1株当たり16円を予定(中間配当8円、期末配当8円)

※2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

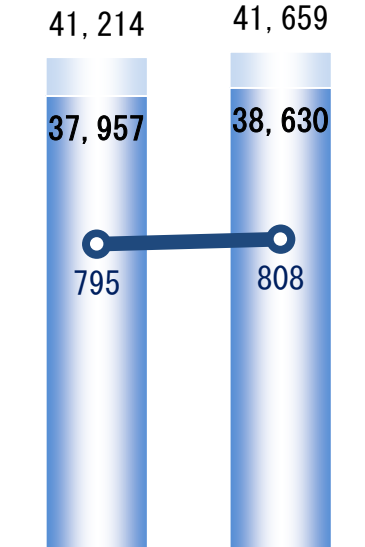
セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース

百万円

日本

■ 内部売上高
■ 外部売上高
— セグメント利益



売上高
1.1%増

セグメント
利益
1.5%増

2018年3月期 2019年3月期

【売上】

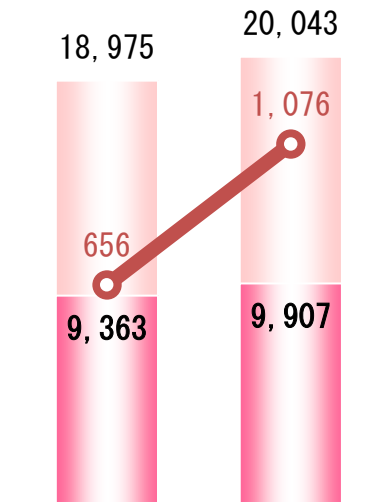
新型血液透析装置「GC-X01」や摂食嚥下関連用品が拡大

【利益】

たな卸資産廃棄損の計上があるものの、販売費の低減により増加

シンガポール

■ 内部売上高
■ 外部売上高
— セグメント利益



売上高
5.6%増

セグメント
利益
64.0%増

2018年3月期 2019年3月期

【売上】

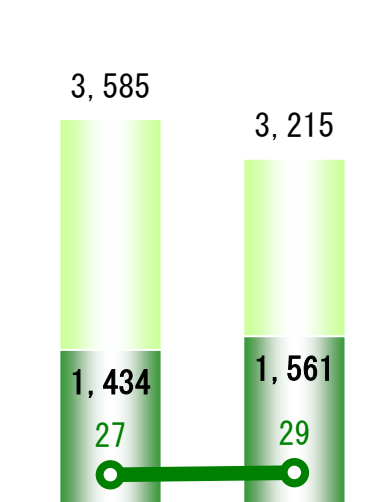
北米向けの成分献血用回路が増加

【利益】

増収効果に加え、為替が有利に作用したことにより増加

中国

■ 内部売上高
■ 外部売上高
— セグメント利益



売上高
10.3%減

セグメント
利益
8.0%増

2018年3月期 2019年3月期

【売上】

フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットが減少

【利益】

減収影響に対し、労務費や経費の低減に努めたことにより増加

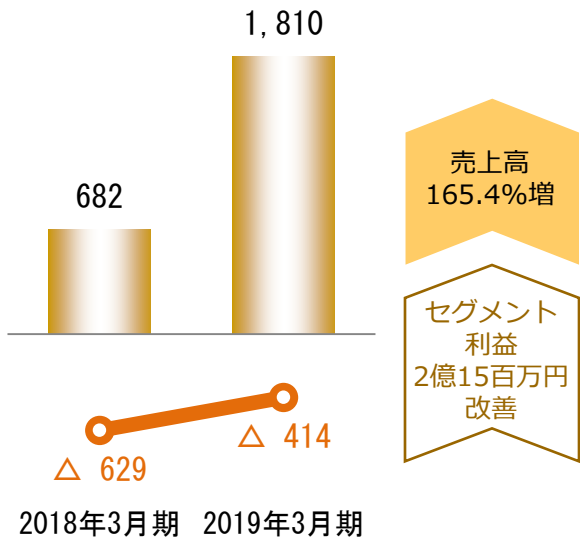
セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース

百万円

フィリピン

■ 内部売上高
— セグメント損益

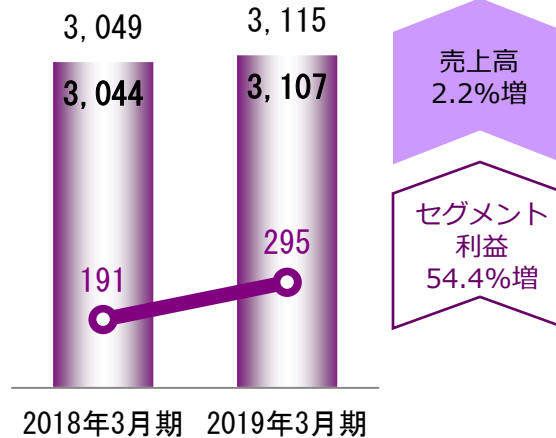


【売上】
日本向けの輸液セットが増加

【損益】
増収効果により損益状況は改善

ドイツ

■ 内部売上高
■ 外部売上高
— セグメント利益

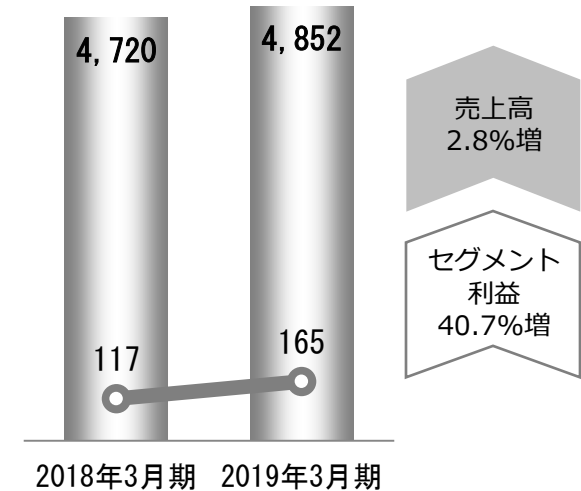


【売上】
透析キットの増加に加え、円安により円貨換算額が増加

【利益】
利益率の高い製品の売上伸長により増加

その他

■ 外部売上高
— セグメント利益

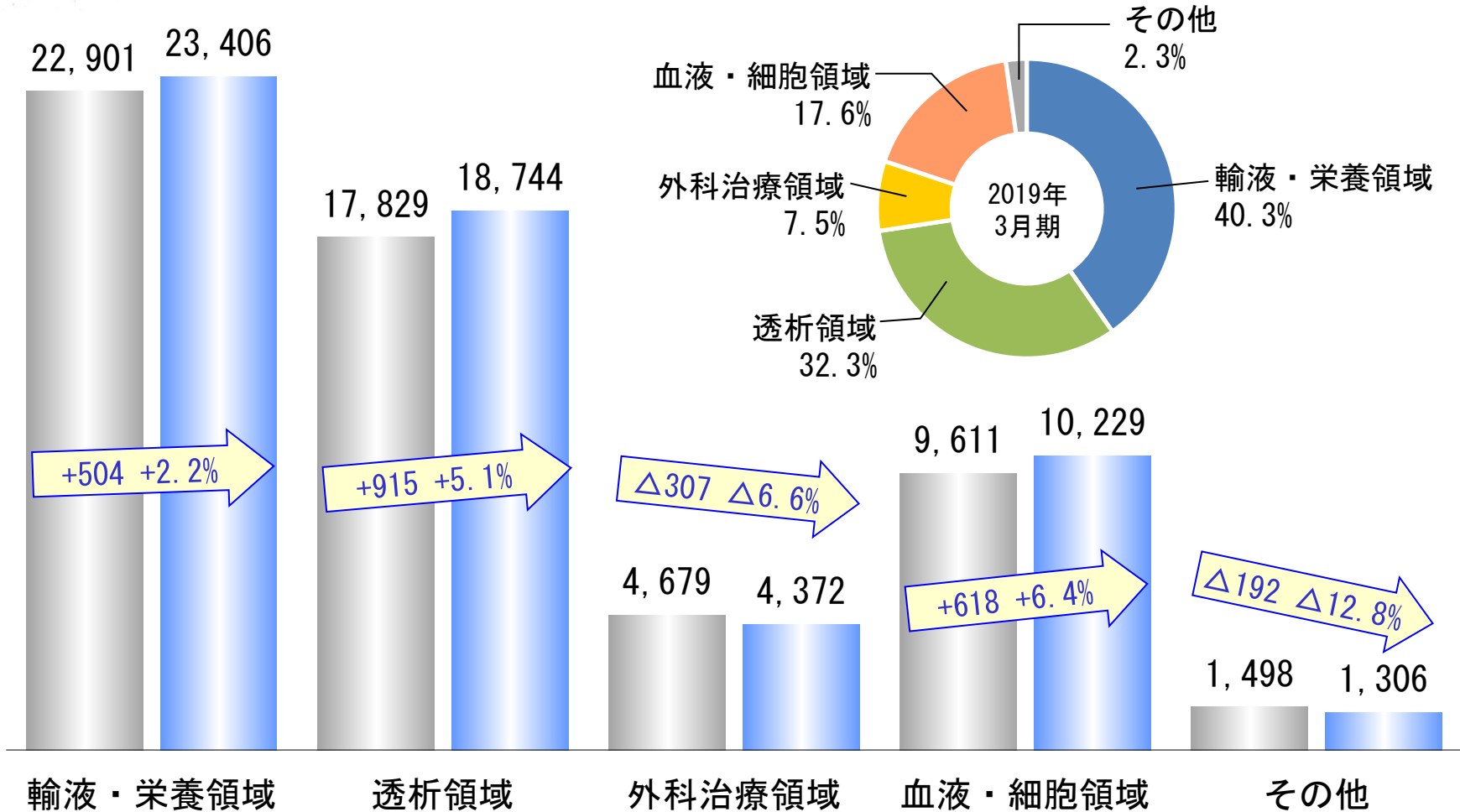


※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

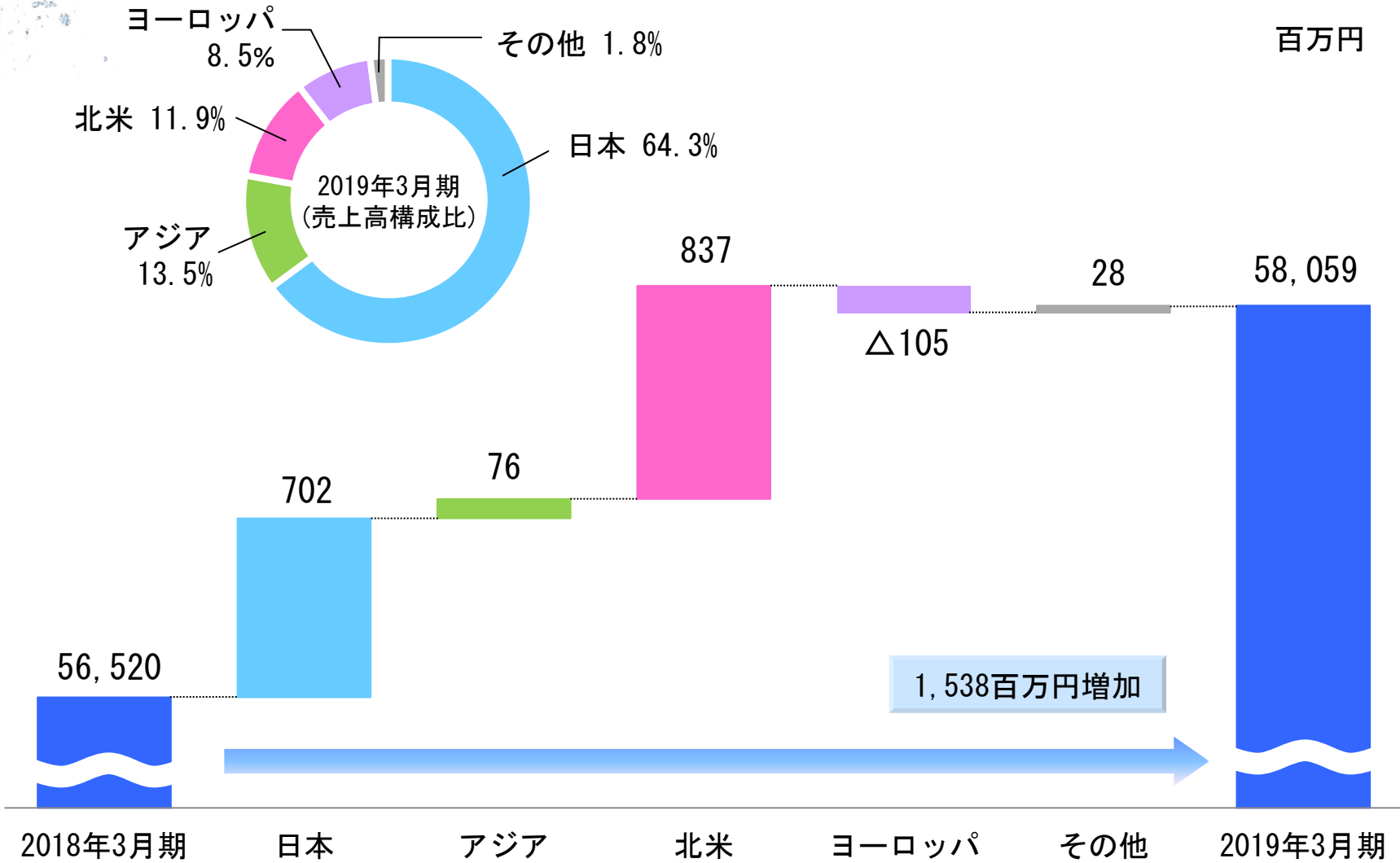
～当期より報告セグメントの区分を変更しています～
従来「その他」に含まれていた「ドイツ」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載しています。なお、前期のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しています。

システム別売上高

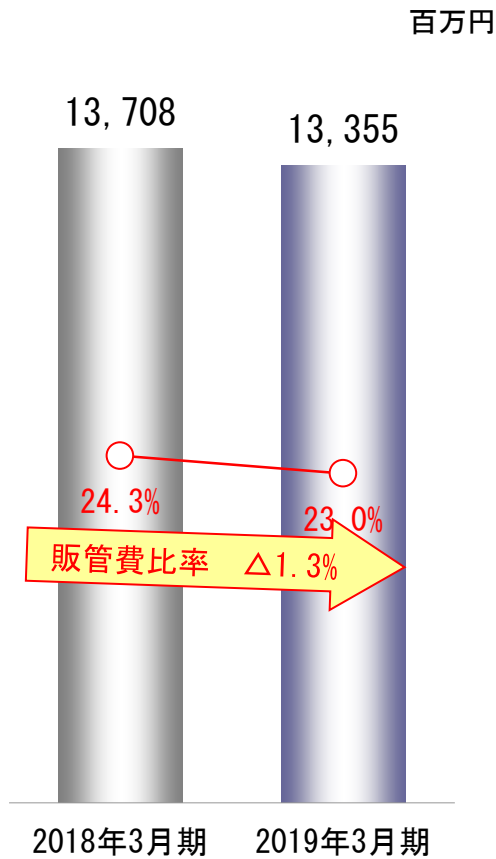
2018年3月期 2019年3月期 百万円



売上高増減分析 (顧客所在地別)



販売費及び一般管理費



百万円

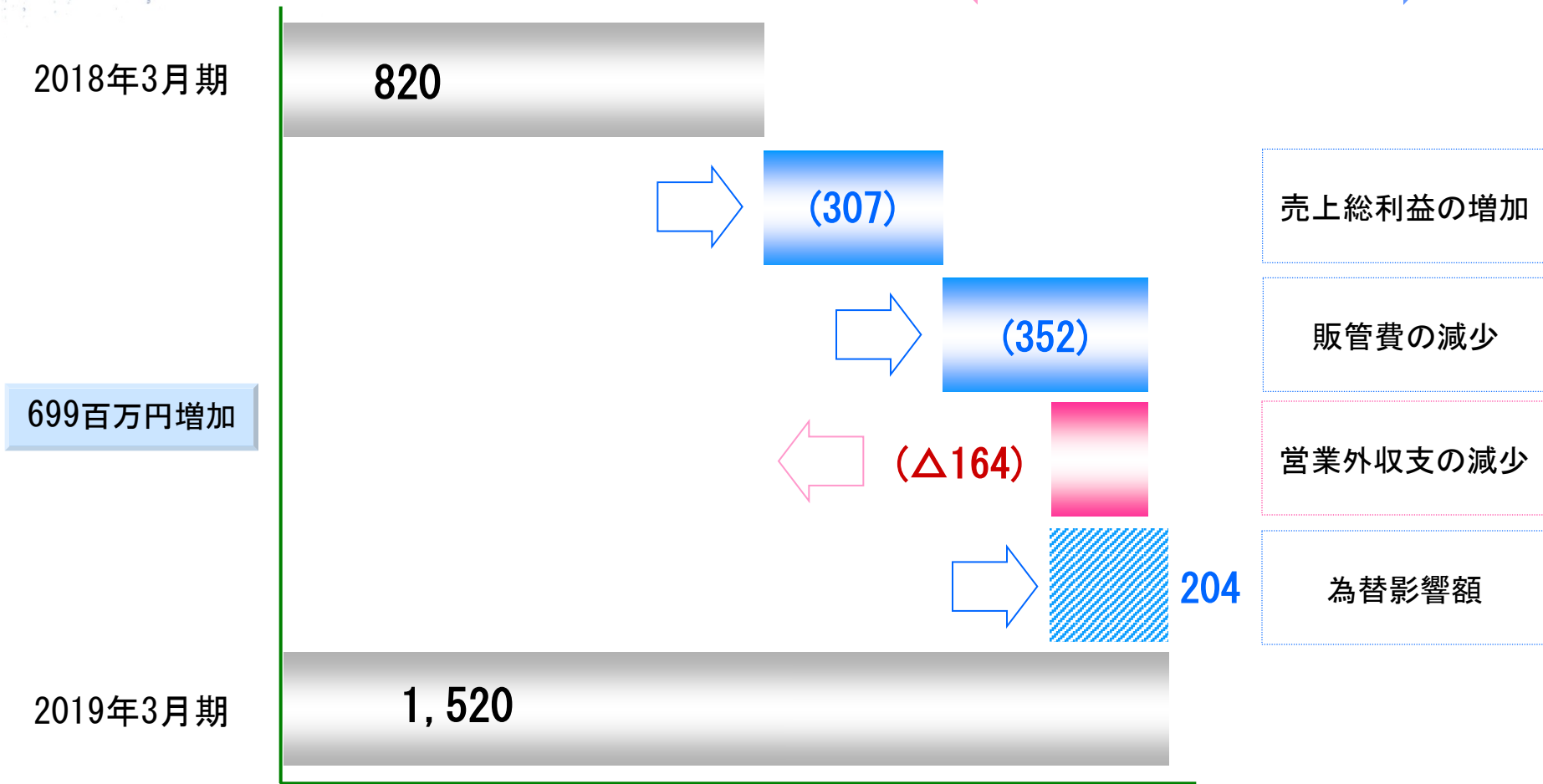
	2018年 3月期	2019年 3月期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	5,767	5,806	39	0.7%
運 送 費	1,614	1,652	37	2.3%
研究開発費	1,553	1,515	$\Delta 37$	$\Delta 2.4\%$
減価償却費	346	335	$\Delta 11$	$\Delta 3.2\%$
そ の 他	4,426	4,045	$\Delta 381$	$\Delta 8.6\%$
計	13,708	13,355	$\Delta 353$	$\Delta 2.6\%$

[その他]

売上拡大の一方で販売費の効率的な運用に努めました。

経常利益：前期実績との比較

百万円



()内は為替影響を除く

2020年3月期 通期連結業績予想

百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	58,059	60,000	3.3%
営業利益	1,462	1,800	23.1%
経常利益	1,520	2,000	31.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	1,400	20.7%
1株当たり 当期純利益	47円59銭	57円43銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	110.91円	110円
ユーロ	130.42円	125円
シンガポールドル	81.69円	82.5円

※日付： お知らせ開示日

-医療用軟質容器に関する特許権侵害訴訟の和解について
2019年3月5日

-経済産業省「健康経営優良法人2019 ～ホワイト500～」に認定されました
2019年2月26日

-大野工場生産終了のお知らせ
2018年9月26日



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

中期経営計画《GAIN 2020》

期間：2018/3期～2020/3期

《GAIN 2020》 **G**lobalization, **A**cceleration and **I**nnovation for the **N**ew generation
 グローバルに、スピード感をもってイノベーションを推進し、新たな時代を切り拓く

基本方針

- 1 顧客起点での事業推進
- 2 全社的な生産性向上

計数目標

売上高 620億円
 営業利益 25億円



取り組み

- ① 機構改革(ビジネスユニット化) …… 顧客起点で最適な事業戦略を迅速に展開
- ② 次世代事業の創出 …… 将来を担う事業の創出に積極的に挑戦
- ③ グローバル展開の加速 …… アライアンス活用とダイレクトマーケティング
- ④ 最適生産の推進 …… グローバル競争に勝てる製品供給体制の確立
- ⑤ コトづくりの強化 …… モノづくり+コトづくりによる新たな顧客価値の創造

《GAIN 2020》取り組みと進捗

-顧客起点での戦略展開

- ネオシールド（抗がん剤調製・投与クローズドシステム）の規格拡充
…医療従事者の抗がん剤曝露リスク低減と薬剤の廃棄ロス抑制を推進
- ツインシールド（カテーテル接続システム）の開発
…簡単操作でより安全・確実な接続を実現、医療事故の防止に貢献

-次世代事業の創出

- 癒着防止材（整形） …治験は予定通り進行中、今期完了の見込み
- 細胞搬送容器（再生医療） …再生医療実施機関に臨床研究用として提供

-グローバル展開の加速

- タイ合弁会社の営業開始…ASEAN市場への展開を視野にタイ国内での販売開始
- 中国CDDS事業の展開…現地パートナーと日本式透析システムの普及を推進

-最適生産の推進

- フィリピン新工場 …操業拡大を進め営業黒字化に目途
- 国内生産拠点の再編…出雲工場での生産設備増強と大野工場の生産終了

《GAIN 2020》取り組みと進捗

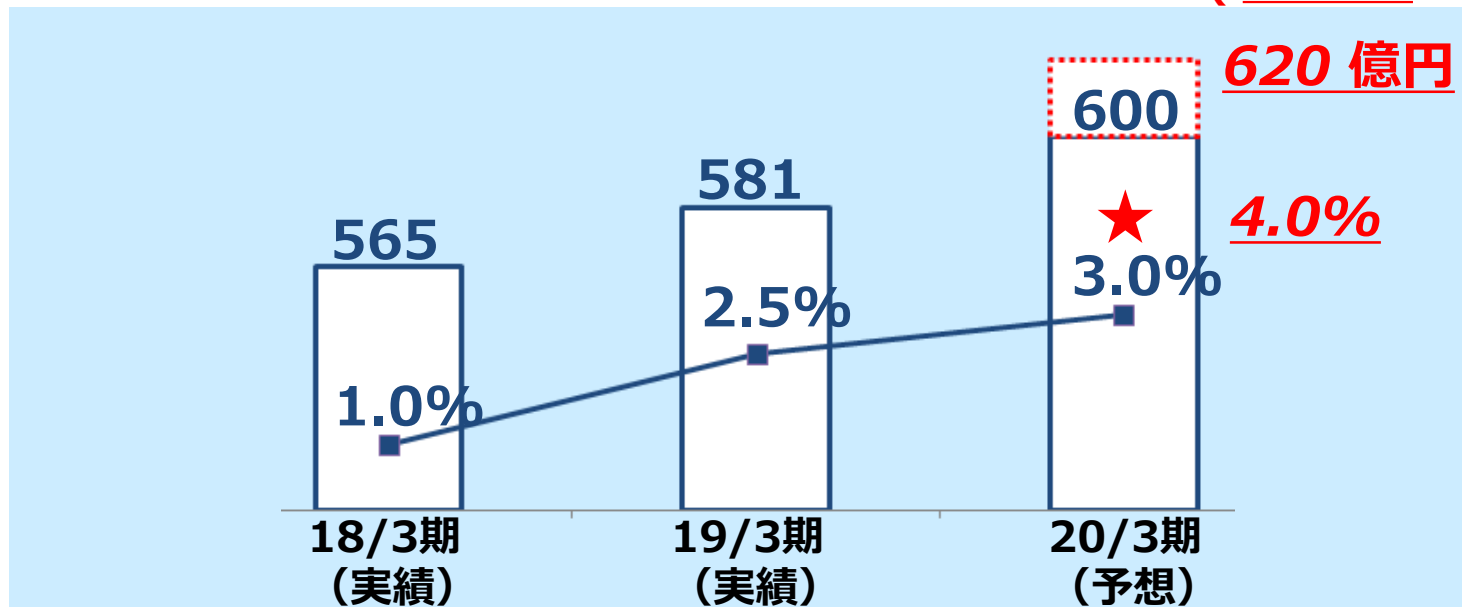
コトづくりの強化

バイオデザイン[※]講座 ……医療現場と連携した新たな課題解決方法の探索

医工連携の推進 ……ソフトウェアを活用した不整脈解析システムの共同開発

※ 革新的な医療機器開発を行うためのデザイン思考。医師や技術者を中心に薬剤師、デザイナーなど多彩なメンバーで医療現場の観察を通じて新たな医療機器を創造(デザイン)する。

連結売上高と営業利益率





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。